

陳 情 文 書 表 (平成29年6月2日定例会提出)

陳情第45号

学識経験を有する者等による調査を求める陳情書

平成29年5月10日受理

陳情者



鹿野園町自治会

会長 竹 中 正 彦

要旨

新斎苑建設において実施した第三者評価で奈良市が選んだ専門家は京都大学の教授のみであったため、より広範な知見による学識経験者による調査を求め陳情します。

理由

平成29年4月16日に奈良市を招いて実施した鹿野園町自治会主催の勉強会において「これまでの奈良市の説明を聞いて安心、大丈夫と思う人」が皆無であったことを自治会として大変重く受けとめております。安心・安全で住みよい地域を築いていくことを第一に考えなければならない自治会としては、不安を抱かれている方がおられる以上、その声を放っておくわけにはまいりません。

平成29年5月7日付毎日新聞において和田穰隆奈良教育大学教授ら2人の専門家が、市の調査に多くの点で十分な根拠データがないことを指摘しております。また、地下水による液状化の危険性も指摘されております。専門家が危険性を指摘する以上、奈良市の実施した第三者評価だけでは鹿野園町住民の不安を払拭することはできません。

さらに、平成29年5月8日に開催された国都審においても、ほとんどの委員から「地元住民の不安を払拭するよう」意見が出されたところです。

住民の生命と安全を守ることが議員の使命であると存じますので、奈良市に住む者の不安を払拭し、市民が安心した生活を送れるよう、御高配を賜りますよう何とぞよろしくお願い申し上げます。

以上